

Title	執筆者紹介；編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2021
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.37, (2020. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20200000-0243">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20200000-0243</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 執筆者紹介（掲載順）

橋川 武郎  
国際大学大学院  
国際経営学研究科教授

木山 実  
関西学院大学商学部教授

大島 久幸  
高千穂大学経営学部教授

平野 隆  
慶應義塾大学商学部教授

石井寿美世  
大東文化大学経済学部准教授

三科 仁伸  
下関市立大学経済学部准教授

田中 温子  
国立公文書館非常勤職員

## 編集後記

二〇一九年十月、経営史学会の第五十五回全国大会が慶應義塾大学で開催され、その統一論題として、「慶應義塾出身近代企業家群像——学閥とキャリアパス」が組まれた。慶應義塾出身者が経営史上で果たした役割について検討したものである。本巻の特集「慶應義塾出身の経営者たち」は、その統一論題での報告者のうち、橋川武郎氏、木山実氏・大島久幸氏、平野隆氏、三科仁伸氏から、大会での議論を踏まえた論考をお寄せいただき、同大会で報告した石井寿美世氏からも論考を頂戴して、構成した。橋川氏は電力、木山氏と大島氏は商社、平野氏は百貨店の側面から、それぞれ貴重な知見を提供していただき、三科氏は慶應義塾から実業界への人材供給、石井氏は地方企業家の経営思想と福沢諭吉の地方観について、論証されている。慶應義塾出身の経営者は、各分野に多数輩出されているながら、これまで学術的な検討がほとんど行われておらず、意義のある特集になったものと自負している。今回、優れた論考をご寄稿いただいた各位に、心より御礼申し上げる次第である。

一般公募論文では、五本の投稿があり、査読の結果、田中温子氏による論説「『学徒出陣』の入隊者数——徴兵関係書類分析を中心に——」が掲載されるにいたった。また、巻末には、福沢諭吉・慶應義塾関係資料紹介を収録している。

本誌は、慶應義塾のみならず、近代日本研究に携わる研究者に広く開かれた知的フォーラムとして、今後も刊行を続けていく予定である。次巻は二〇二二年二月刊行を目指しており、投稿の募集も追ってご案内する。意欲的な論考の投稿をお待ちしている。